

旭市の農産物をPR

大田市場でトップセールス

11月27日、市長、農協組合長が、農協関係者や生産者と共に、早朝から活気溢れる大田市場で旭市の農産物をPRしました。旭市産の野菜が展示された場所を訪れた多くの仲買人などは、さまざまな種類の安心安全な野菜を、興味深そうに手に取って、吟味していました。また、無料で配布された「あさひ元気鍋」で冷えた体を温めたり、キュウリとミニトマトのスティックに舌鼓を打ったりと、旭産の食材を堪能していました。次いで、市長らは、市場関係者と意見交換会を開催し、昨今の農業情勢などについて話し合いました。

また、その後視察した加工食品工場でも、旭の農産物をPRしました。

▼旭産の食材がたっぷり入った
あさひ元気鍋



◀「精魂込めて栽培しています」とPRする旭市長

環境調査から知る私たちにできること

サンライズプラン冬の交流会



▲日本の食糧自給率の低さが地球温暖化に大きくかかわっていることを説明する子どもたち

11月28日、干潟公民館で矢指小3年生と古城小4年生60人が、春、夏、秋と季節ごとに農地などで実施した、環境調査の報告会を行いました。そこに住む生き物調査から始まった発表は今の自分たちの食生活、日本の食糧自給率の低下、輸入によるCO₂の排出と地球温暖化への影響などへと発展、周囲の大人たちを驚かせました。子どもたちは、「環境のために自分たちに何ができるのか考えることができた」「地球にやさしい取り組みをしていきたい」と話していました。

自分らしく生きる

第4回旭市社会福祉大会

▶講演を行う石川さん



11月18日、東総文化会館大ホールで、第4回旭市社会福祉大会が開催され、350人が参加しました。大会では表彰や大会宣言、社会福祉作文の発表のほか、元アナウンサーの石川牧子さんによる、講演が行われました。介護の実体験を基にした話をすると、会場にいた

人たちは、引き込まれるように話を聞いていました。最後に、石川さんは「自分らしく生きるためにコミュニケーションは重要。たった1秒、5文字の言葉でも、相手に思いを伝えることができます」と話して講演を締めくくりました。

タスキに込めた思い

第4回旭市民駅伝大会

12月14日、東総運動場を会場として、第4回旭市民駅伝大会が行われました。当日は、あいにくの雨でしたが、訪れた観客からのたくさんの応援に後押しされ、選手は懸命な走りを見せていました。部門別の優勝チームは次のとおりです。(敬称略)

小学生の部(9.5km)：網戸スターズC (37分41秒)

中学生の部(17.4km)：男子／旭一中A (1時間01分10秒)

女子／干潟中学校女子A (1時間11分43秒)

一般の部(17.4km)：男子／旭市消防署A (1時間03分01秒) 女子／タートルズ「女組」(1時間25分10秒)



◀冷たい雨が降る中、小学生の部のスタート

地域の力で安全なまちに

エンジョイパトロール隊

地域の安全は自分たちで守ろうと、旭地域で結成されているエンジョイパトロール隊が11月20日、旭地域の区長会と共に集団パトロールを実施しました。市役所で出発式を行った参加者たちは、トレードマークの防犯パトロールの帽子をかぶり、各小学校などの通学路を中心にパトロールを行いました。参加者は下校途中で出会った子どもたちに声をかけながら、犯罪への注意を呼びかけていました。



◀下校時の小学生に声をかけるパトロール隊

楽しく学んだ成果を発表

第4回旭市生涯学習フェスティバル



▲萩尾みどりさん

生涯にわたり新たな知識や技術を学び、楽しく自己を高める生涯学習。そこで学ぶ方の成果の発表と交流を深める、第4回生涯学習フェスティバルが11月15、16日の二日間、東総文化会館で開かれました。会場には色鮮やかなアメリカンフラワーやさまざまな作品が並べられ、15日は青少年意見発表大会が、また翌日は実践発表と女優の萩尾みどりさんによる講演会が行われました。萩尾さんが、「地球温暖化防止のため、今皆さんが取り組んでいる対策にもう一つ加えましょう」と呼びかけると、会場からは大きな拍手が起こりました。

旭市青少年意見発表大会



▲小学生から青年まで25人が自分の思いや体験を発表

汗と笑顔のスポーツ交流

健康体力づくりフェスティバル

▶
ナイス
バッ
ティ
ング



誰もが気軽に参加できるスポーツを通じて、体力づくりと交流を図る健康体力づくりフェスティバルが11月30日、市内スポーツ施設で開かれました。ドッジボールとティーボールに参加した小学生588人は、家族からの大きな声援を受け元気いっぱいプレー。またパークゴルフに参加した一般151人は、コースのあちこちから歓声が聞こえる和やかな雰囲気の中、心地よい汗を流していました。

木の温もりを感じられる新しい校舎が完成

旭二中

平成19年12月から工事が始まった旭二中の新校舎が完成し、11月28日に同校屋内運動場で竣工式が開かれました。新しい校舎は鉄筋コンクリート造り3階建てで、各階に多目的ホールを設けさまざまな学習形態に対応するほか、バリアフリーや防犯対策にも配慮されています。また校内は木材を多用しており、生徒も「前と比べ温かなイメージの学校になった」と話してくれました。



▲多目的ホール

子どもたちとお年寄りが楽しい時間を共有

富浦小児童がふれあいボランティア

地域に住む一人暮らしのお年寄りに楽しい時間を過ごしてもらえればと、富浦小学校の5年生38人が11月28日、班に分かれて7軒のお宅を訪問しました。一緒に遊んだりお話をしたり笑顔の絶えない時間を過ごし、お年寄りからは「いろいろな話ができて楽しい時間でした。また時間があれば寄ってください」と、子どもたちにお礼の言葉が贈られました。



▲久しぶりに遊ぶお手玉

つきたてもちや新鮮野菜に人だかり

海上産業まつり

毎回大勢の来場者でにぎわう旭市の産業まつり。今年度の最後を飾る海上産業まつりが11月23日、海上コミュニティ運動公園で開かれました。当日は天候にも恵まれ、開始時刻前にもかかわらず大勢の方が来場。新鮮な野菜などがいっぱい入った袋を手にする姿や、つきたてのおもちをほおばる姿が見られました。



▲つきたてのおもちは大人気